

財務の安定化、信用力の向上に！ キャッシュフローのメリットをご紹介します

キャッシュフローとは、経営に関わるお金(キャッシュ)の流れ(フロー)を指します。お金が入ってくることをキャッシュ・インといい、たとえば「売上の入金」「不動産などの資産売却による収入」「補助金の受給」などのほかに、借入による資金調達も含まれます。一方、お金が出ていくことをキャッシュ・アウトといい、「仕入代金の支払い」「不動産などの資産購入による支出」のほか、借入金の返済などがあります。

$$\text{現金での収支} = \text{現金での収入} - \text{現金での支出}$$



キャッシュフローを把握するメリット



キャッシュフローを把握する主なメリットは、**財務の安定化、信用力の向上、そして会社の成長**につながります。

会社の財務状況が安定

問題点を把握し、財務の改善策を立てやすくなります。

金融機関からの信頼

資金管理の意識が高い会社として、金融機関から信用が高まります。

会社の成長

借入金を減らす、手元資金で迅速に投資するなどより自由となります。

キャッシュフロー計算書とは？

財務三表それぞれの違い



貸借対照表

決算の締め日(一時点)における資産・負債・資本などの残高で、財政状態を表す書類

キャッシュフロー計算書

経営で最も重要な資金繰りを振り返ることで問題点を把握し、財務の改善策を立てやすくなる書類

損益計算書

会計年度の間(一期間)に、いくらの上や支払があり、いくら儲けがあったのかを表す書類

貸借対照表や損益計算書では表示されない、**お金の流れを表示するのがキャッシュフロー計算書**

キャッシュフロー計算書作成と使い方

① キャッシュフロー計算書を作成して、お金の流れを把握する

② キャッシュフロー計算書を分析して、問題の原因と対策を考える

③ 資金繰り表を作成して、将来の資金の流れや余裕度合いなどを予測する

④ お金の流れを改善する対策を資金繰りに反映させる

キャッシュフローを見るポイント



赤字の項目がある場合は、以下を確認します。

- 投資金額を回収できる見込みはどうか
- 本業のお金が不足した理由は何か
- 本業での儲けをどのように確保するか



次のような経営者にキャッシュフロー経営がおすすめ！

- スタートアップやアーリーステージなどの若い経営者
- 資金繰りが忙しい経営者
- 成長意欲が高い経営者
- お金の流れが見えにくいと悩んでいる経営者



キャッシュフローがうまく管理できていないと、資金繰りが急に悪化してしまうことがあります。